

# 概説国際法

加藤信行 = 萬歳寛之 = 山田卓平 編、  
伊藤一頼 = 岡田陽平 = 瀬田 真 =  
竹村仁美 = 前田直子 = 川岸 伸 著

## 担当編集から

ロシアとウクライナ、イスラエルとパレスチナ……痛ましい報道が絶えない昨今ですが、それらの報道の中でたびたび言及される国際法について、改めて関心を持った方も多いのではないでしょうか。しかし、全世界に共通する「国際法」という法があるわけではありません。それは、数多くの条約や国連の決議、そして古くからの理念・慣習など、非常に様々なもので成り立っています。

本書は、さわめて幅広い事項を規律する国際法について、かみ砕いた記述で、わかりやすく解説した概説書です。本書をお読みいただければ、現在の国際法をめぐる世界の事象をただしく理解し、判断するために必要な基礎知識を身につけられるでしょう。関心のあるテーマについてより深く学びたいというときは、章末の参考文献もご参照ください。これから国際法を学び始める方にも、もう一度勉強し直したい方にも、お薦めしたいテキストです。(I&T)

# 概説国際法

加藤信行・萬歳寛之・山田卓平 編  
伊藤一頼・岡田陽平・瀬田 真・竹村仁美・前田直子・川岸 伸 著

## 新時代の スタンダード・テキスト!

オーソドックスな構成  
国際法の基礎を固め、理解を深める概説書

有斐閣

詳細を  
見る



レベル - 用途 - 対象 -

中級 学習 学部 LS

2024年12月発売 / 496頁 / 定価4400円(税込)  
A5判 / 並製

## Point

Columnでは、比較的最近の事例や、発展的なトピックも取り上げています。

### 第1章 国際法の特徴と歴史(加藤信行)

Column1-1 ユス・ゲンティウム(*jus gentium*)と  
ユス・インテル・ゲンテス(*jus inter  
gentes*)

Column1-2 国際礼讓(international comity)

### 第2章 国際法の法源(萬歳寛之)

Column2-1 シリアの化学兵器の事例

### 第3章 条約法(山田卓平)

Column3-1 国連総会の決議

Column3-2 ICJジェノサイド条約の留保事件

Column3-3 条約実施機関による解釈の位置づけ

Column3-4 条約法条約60条とナミビア問題

### 第4章 国家(伊藤一頼)

### 第5章 国際法上の免除(岡田陽平)

Column5-1 国家免除を援用することができる「国」

Column5-2 戦闘機の購入は商業的行為か

Column5-3 ジョージア州港湾局事件

Column5-4 韓国慰安婦訴訟における国家免除

Column5-5 エンリカ・レクシー号事件

Column5-6 国際刑事裁判所(ICC)と

国家元首の免除

Column5-7 外交官の民事裁判権免除と  
「現代の奴隷」問題

### 第6章 国家領域・空域・国際区域(瀬田 真)

### 第7章 海洋法(瀬田 真)

### 第8章 国際環境法(萬歳寛之)

### 第9章 国際法と個人(竹村仁美)

Column9-1 ミャンマーのロヒンギャ問題と  
ウクライナの避難民問題

Column9-2 ジェノサイド条約に基づく  
国際司法裁判所での訴訟

### 第10章 国際人権法(前田直子)

### 第11章 国際機構(岡田陽平)

Column11-1 国際不公正理事会事件

Column11-2 米国によるWHOからの脱退通告

Column11-3 欧州評議会からのロシアの「除名」

Column11-4 代替手段テスト

### 第12章 国際経済(伊藤一頼)

Column12-1 ビジネスと人権

### 第13章 国家責任(山田卓平)

### 第14章 紛争の平和的解決(川岸 伸)

### 第15章 安全保障(川岸 伸)

### 第16章 武力紛争(竹村仁美)

Column16-1 ウクライナとロシアの武力紛争

詳細は、小社ウェブサイトの本書のページをご覧ください。

